〔第3種郵便物認可

門科
科（大腸検診）
ロスグ
-1567

天気

	きょう 6時	9	12	15	18	21	24	あす
神戸	15 4 ⑩							19 9 ⑤⓪
洲本	16 5 ⑩							19 9 ⑤⓪
姫路	14 0 ⑩							19 7 ⑤⓪

週間天気

	14日(木)	15日(金)	16日(土)	17日(日)	18日(月)
神戸	10 4 ④⓪	14 2 ③⓪	17 7 ③⓪	18 7 ③⓪	15 9 ⑤⓪
洲本	9 3 ④⓪	13 1 ③⓪	16 6 ③⓪	17 6 ③⓪	14 8 ⑤⓪

のち
一時・時々
5ミリ以上
5ミリ未満

数字（上）最高気温
（下）最低気温
丸囲みは降水確率
白ヌキは50%以上
↘は正午の風向き
矢印なしは無風

2年 東日本大震災

ずっと寄り添う

鎮魂の祈り東北へ

東日本大震災から2年を迎えた11日、神戸市内の各地で追悼式典が営まれた。大震災発生の午後2時46分、参列者は犠牲者を追悼して黙とうし、東北の復興を祈った。18年前に阪神大震災を経験した神戸の街は、鎮魂の祈りと東北の被災者への思いに包まれた。

【内橋寿明、近藤諭、井上卓也】

る大下幸夫さん（中央）
戸市中央区の東遊園地で

灯籠で「3・11」

東遊園地

阪神大震災からの復興を願ってともされているガス灯「1・17希望の灯り」がある東遊園地（神戸市中央区）。阪神大震災の追悼行事でも使う竹灯籠（とうろう）約100本に、参列者が被災地へ向けたメッセージを書いた。灯籠にはろうそくを浮かべて「3・11」の形に配置し、「希望の灯り」の火で点灯。集まった約200人が黙とうした。

勤務先の仙台市で被災し、取引先の社員が亡くなった萩野遼子さん(26)＝滋賀県甲賀市＝は「笑顔がたくさんあふれますように」と竹灯籠に書き、明かりに手をあわせた。「とにかく、みなさん元気で過ごしてください」と被災者への思いを口にすると、涙があふれた。

東北に仕事仲間が多いという通信関連会社経営、大森啓司さん(56)＝三田市＝は、先月も岩手県へ出張し、復興の進まない被災地を目の当たりにした。津波の犠牲になったり、勤務先を流されたりした仲間を思い浮かべ、「落ち込むことも多いだろうが、前を向いてもらいたい」と話した。

東遊園地の会場は、岩手県陸前高田市の「3・11希望の灯り」前の追悼式典会場とインターネットの動画中継で結び、参列者が現地の被災者の声に耳を傾けた。神戸からは、阪神大震災の追悼行事を主宰し、末期がんと闘う大下幸夫さん(73)＝三木市＝が「私のような病人でも、何かやらなければと立ち上がれば、悲嘆を抱えた人たちの再生につながっていくと信じている」とあいさつ。被災地の方角を向き、「いつまでも、あなたに寄り添う」と語りかけた。

全国からの支援 避難者の希望に

塩釜の「語り部」教頭

神戸市北区の県立神戸甲北高校では、宮城県塩釜市立浦戸中学校の伊東毅浩教頭(50)が震災体験を同高の生徒らに語り、命の大切さについて講演した。

伊東教頭は、気仙沼市教委で勤務中に被災。震災翌日から近くの同市立気仙沼中学の避難所の責任者として被災者の支援に尽力した。現在は当時の体験を語り継ぐ「語り部」として活動している。

伊東教頭は、津波から逃れるため家屋の屋上に避難した人々が寒さのために死亡した事例などを挙げ、震災の悲惨さを説明した。一方で、全国からの支援が避難者に希望を与えたことを紹介。「人には生きる意味がある。自分に何ができるかを考え、亡くなった人の分も生きなければならない」と訴えた。同高2年の森美由紀さん(17)は「この日の講演を友人や家族に伝え、同じ悲しみが二度と起きないようにできることをやりたい」と話した。

教頭
＝神戸市北区の県立神戸甲北高校で

津波で歌は流されない

新たな歌詞 被災地応援

長田で合唱

神戸市長田区で開かれた「新長田音楽プロジェクト実行委員会」による追悼イベントでは、東日本大震災の被災地を応援しようと11年に作られたオリジナル曲「帰り道の途中」に新たな歌詞をつけ、「この国には愛が」として歌った。

同プロジェクトは、「アスタ新長田テナント会」やNPO法人「再開発ビル活性化ネットワーク」（大阪市）などが11年に企画した。約3000曲を手がけた作詞家、松本一起さんが作詞し、東日本大震災被災地への応援歌「帰り道の途中」として同年12月に完成。12年3月11日には神戸の高校生らが宮城県石巻市の追悼イベントで合唱したが、「新長田から東北へ」という応援の意味を強く込めたフレーズもあり、「より広がりのある歌詞を」と、松本さんが同12月、新たに「この国には愛が」として書き下ろした。新しい歌詞の曲は、県内の6合唱団計約300人が合唱し、その様子を収めたDVDを宮城県石巻市などに届けた。

この日は、県内のほか宮城県の合唱団のメンバーも含め約100人が参加し、阪神の被災者から東北へ、応援の思いを込めて歌い上げた。仙台市の合唱団「エピス」常任指揮者の早川幹雄さん(38)は「津波で大切な物が流されたが、歌は流されなかった。神戸で受けた感動を地元に伝えたい」と語った。実行委はこの日のイベントも撮影し、応援の寄せ書きと合わせて東北に贈るという。

松本さん（左手前）の指揮で、新しい歌詞による応援歌「この国には愛が」を歌う合唱団のメンバーたち＝神戸市長田区で

責極支援

県は11日、県外で発生する災害に対して積極的な支援をしていくため、「県外災害ひょうご緊急支援隊」を創設したと発表。東日本大震災への支援の経験を生かし、関西広域連合で検討し現地に派遣。支援チームが必要と判断された場合に、数人～数十人で編成する本隊が被災自治体の災害対策本部に出動。被災地のニーズを把握し、具体的な応援支援する分野は、避難所運営▽災害廃棄物処理▽保健医療▽生活再建支援▽家屋被害調査▽こころのケア――などを想定している。

先遣隊は、災害発生から

事件・事故

■ストーカー規制法違反容疑で男を逮捕　生田署などは11日、大阪府大東市緑が丘2、アルバイト、坂口哲章容疑者(54)をストーカー規制法違反容疑で逮捕した。容疑は昨年11月～今年2月、元交際相手の女性(48)には計32通や自分で契約し

保険金詐取した被告に懲役7年

地裁判決・事故偽る

交通事故を偽って保険金をだまし取ったとして詐欺の罪に問われた神戸市須磨区、会社役員、長谷川康蔵被告(37)の判決公判が11日、神戸地裁で開かれ、西森英司裁判官は「被告主導による巧妙で狡猾（こうかつ）な犯行」として、懲役7年（求刑・懲役8年）を言い渡した。

判決によると、長谷川被告は06年5月～10年7月、他の20人とともに計7件の事故を故意に起こし、保険会社などから59回にわたり、保険金計1億764万円を詐取した。

【渡辺暢】

大学受験専門塾》
田区
ども
（小）
時
病院
（中
40分
診
味わい絶品　老舗の風味